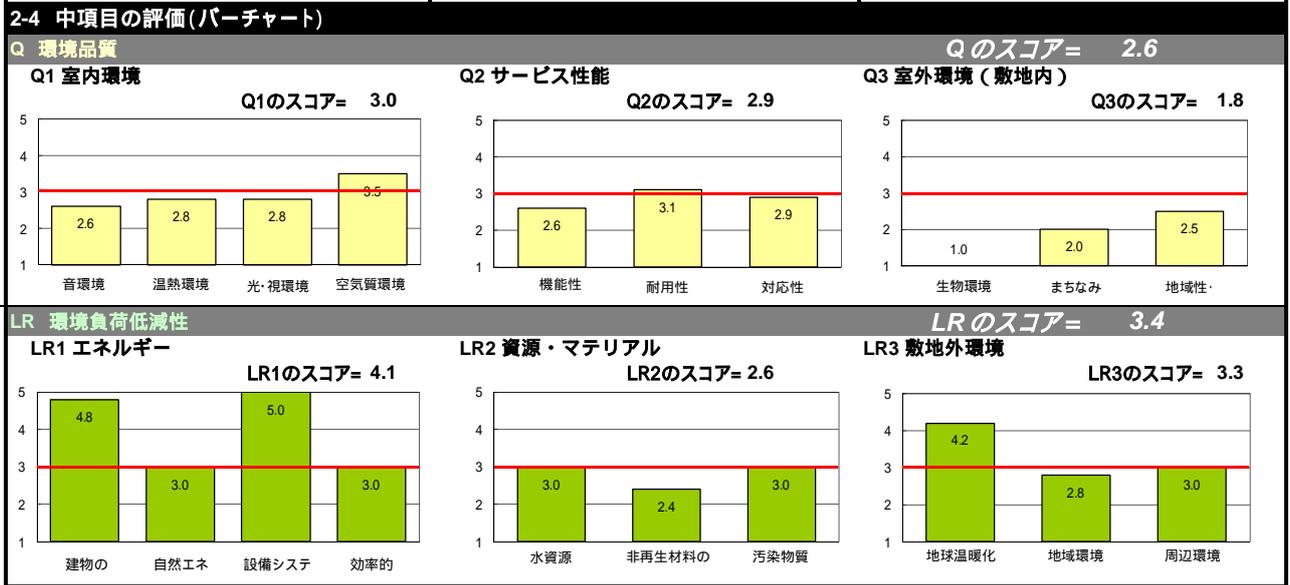
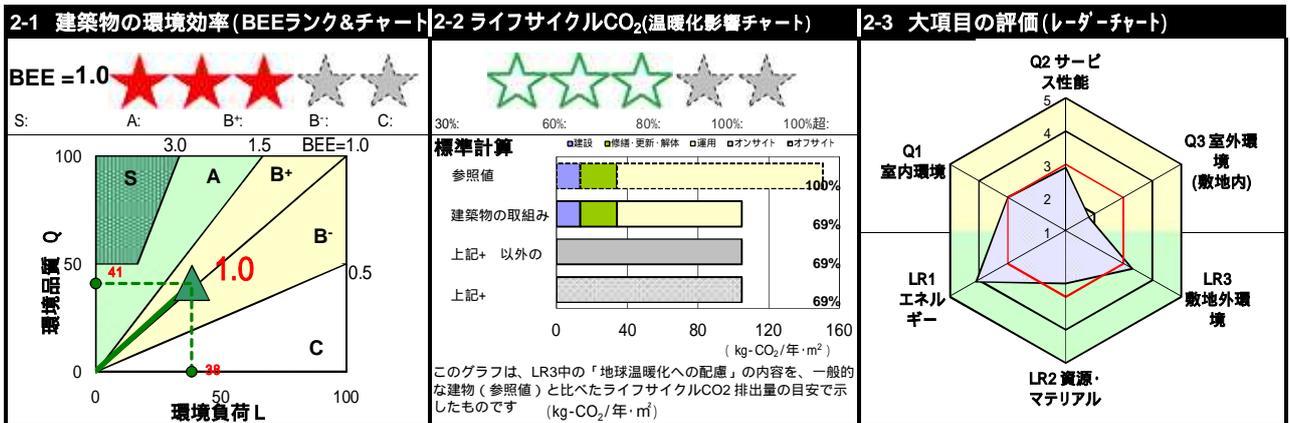


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	介護老人保健施設 ひまわりの里	階数	地上4F
建設地	秦野市西大竹字東立野915-1 他	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2013年9月17日
敷地面積	6,088 m ²	作成者	株式会社 インターピア
建築面積	1,548 m ²	確認日	2013年9月17日
延床面積	4,937 m ²	確認者	株式会社 インターピア



3 設計上の配慮事項		
総合 外皮に断熱材を使用することで室内環境に配慮している。 また、自動水栓を使用することにより、水の使いすぎに配慮している。 さらには、設備を高効率化することで敷地外の環境に配慮している。		その他 なし
Q1 室内環境 昼光率: 住居 4.3% 下地、仕上げ材の全てに F を使用。	Q2 サービス性能 外壁仕上げ材に磁気質タイル使用(30年) 給水管、給湯管に塩ビライニング鋼管を使用。E は不使用。	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー PAL値 = 233.3 (病院用途の基準 340) ERR値 = 36%	LR2 資源・マテリアル 使用骨材(基礎梁・大梁・柱)の基準強度 F = 390	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率 = 69%

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される